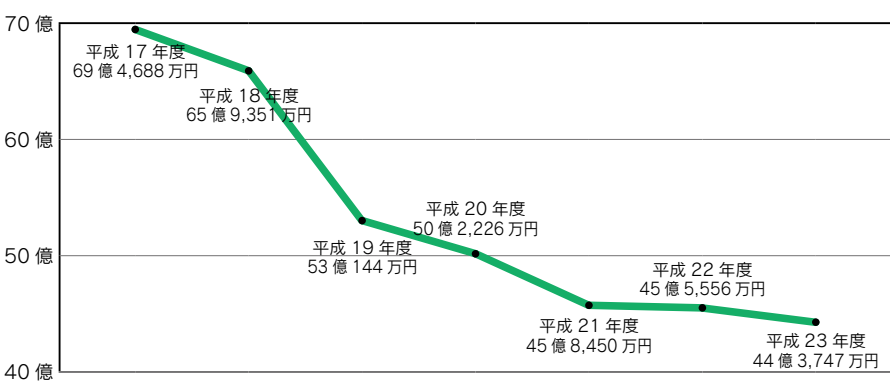
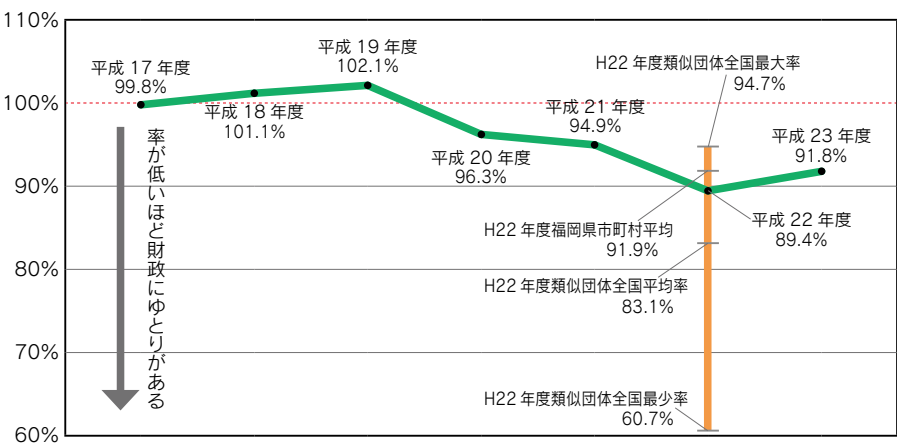


07 地方債（借金）“7年間の推移” 町の借金残高は約 1 億 1,809 万円減少

年度を越えて元利を償還する借入金を地方債といいます。平成 23 年度末の地方債残高は、前年度から 1 億 1,809 万円減少し、44 億 3,747 万円となりました。この地方債償還分にあたる公債費による財政負担の割合を減らすために、平成 19 年度から 21 年度にかけて繰上償還を行いました。安定した財政運営のためには、この地方債の減少が大きなポイントとなります。



08 経常収支比率 “7年間の推移”



人件費、扶助費、公債費といった毎年必ず必要とする経費を町税や普通交付税などの経常一般財源で割った指数が経常収支比率です。桂川町の経常収支比率は、前年度より 2.4 ポイント悪化し 91.8%となりました。財政構造に弾力性を持たせるためにも、今後も細心の注意を払いながら財政運営を行っていく必要があります。

※類似団体とは、「人口」と「産業構造」をもとに分類した、桂川町と同程度の町村を指します。

世 界経済の低迷、国政の混乱等、先行きを見通すことが非常に困難な状況ではありますが、本町を取り巻く様々な変化に即応しつつ、長期的な視野に立った計画的な町政に努めて参ります。

えます。を勘案すると、以前の危機的な状況は脱していると考

桂 川町の借金は、平成 23 年度末時点で約 50 億 3 100 万円（注）です。国と違い、残高は年々減少しており、ピーク時に比べると 47 億円以上の削減を得ています。これは近年、建設事業等への投資経費を抑制したことや、基金（貯金）を活用した繰上償還によるものです。また、借金をする場合に、後年度に国からの財源手当てがある、より有利なものを選択してきたため、実質的な町の負担額は約 13 億 9 200 万円と、残高の 4 分の 1 程度となつてい

注：桂川町として返済する義務を負う借金の総合計と内訳	
一般会計	約 44 億 1,400 万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	約 2,400 万円
水道事業会計	約 4 億 2,000 万円
飯塚市・桂川町衛生施設組合（桂川町負担分）	約 1 億 7,300 万円
合 計	約 50 億 3,100 万円